

奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句

小中学生の部



令和五年六月度 入賞句一覧

投句数 千二百五十二句

特選

星野 勝 選

わき水におよぎがへたなかえるの子

大垣市

林

芽生(小二)

今の時期は、田んぼに水が張られていて、たくさんのかえるが鳴いていますね。かえるを題材にした投句はたくさんありましたが、この句は鋭い観察力を発揮してそれをうまく俳句に表現してくれました。いっしょに泳いでいるのになかなか前に進まないかえるを、たまに見かけます。特にわき水だと流れに勢いがあるので、余計にそう見えるのかもしれない。「かえる」合唱」ではなく、独自の視点で詠まれた素敵な俳句になりました。

弟がトイレでうんちできた初夏

大垣市

しんくぼ

ゆいと(小四)

弟や妹がいる人にとって、その成長に気づいたときは、何とも言えないうれしさがこみあげてくるのでしょうかね。弟さんはまだ幼いけれど、日に日に成長しているのでしょう。そしてそれを見守る優しいお兄さんの気持ちが見事に俳句に表現されています。気持ちを表す直接的な表現は一つもないのに、作者の優しい心が伝わってくる、とても素敵な句です。きつとこれからも優しい兄として弟さんを大切にされるのでしょうかね。

夏休み準備されてるお弁当

加茂郡川辺町

藤井

俊輔(中二)

皆さんにとつては待ち遠しい夏休み。今年もいろいろな計画をされていることでしょうか。いっしょにお昼は当たり前のように給食を食べている皆さんですが、働いてみえるお父さんやお母さんにとつては、夏休み中の皆さんの昼ご飯は結構大きな課題です。きつと作者の保護者の方もお勤めをされているのでしょうか。この句、淡々と詠まれていますが、家族の温かさや、作者の感謝の気持ちも伝わってくる、優しさにあふれた句だと思います。

秀逸

かわせみが魚をねらいダイビング

大垣市

秋吉

音弥(小六)

しらすぎがせすじをぴんとおぼして

大垣市

よしだ

なお(小三)

夏が来た風のおいが変わって

加茂郡川辺町

小田垣

理子(中三)

太陽が入道雲にのまれて

加茂郡川辺町

堀井

咲来(中三)

おまつりのおばけやしきでさけぶは

大垣市

二村

そうた(小二)

夏の虫出てきちやダメとママさげ

大垣市

高橋

舞琶寧(小四)

梅雨ぐもりかさをわすれて急ぎ足

大垣市

鈴木

桃果(小五)

おじぎそうあさのあいさつぺこりんこ

大垣市

悪七

悠理乃(小二)

青いみがならんだかぞくミニトマト

大垣市

原

奏介(小二)

夏休みうまるわけない予定表

大垣市

吉井

悠吉(中三)

入選

虹を飛ぶ長靴の音軽やかに

加茂郡川辺町

小田 憩（中三）

背伸びして負けてたまるかひまわりに

加茂郡川辺町

山口 翔太（中三）

さくらんぼ二つの絆終わらない

加茂郡川辺町

佐伯 美月葵（中三）

草笛の甲高い音風に乗る

加茂郡川辺町

前川 慧伍（中三）

次こそは割ってみせるぞスイカ割り

加茂郡川辺町

伊藤 光一（中二）

泥遊びふと気がついた田植え中

加茂郡川辺町

武田 菜々美（中二）

道ばたにひまわりの花足とめる

加茂郡川辺町

幸村 心優（中二）

あさがおのおはながきれいにじいろだ

大垣市

上野 心栞子（小二）

あまがえるはつぱのうえできゆうけいだ

大垣市

白木 りつと（小二）

ごめんねとひまわりさんも夏おわり

大垣市

かのう あやめ（小三）

あじさいが雨のリズムとおどってる

大垣市

和田 愛菜（小五）

さあプールさかなになってとびこもう

大垣市

神谷 凜（小五）

夏祭りお金をにぎる私の手

大垣市

谷 心晴（小五）

すいかわりしじにしたがいどまんなか

大垣市

加藤 陽悠（小五）

向日葵は太陽のむき気にしてる

大垣市

三輪 白亜来（小六）

山笑うあまさひかえめパンケーキ

岐阜市

脇原 葉彩奈（小五）

てんとうむしおひさまめがけとんでいく

大垣市

井口 陽（小二）

梅雨曇ひつそりうかぶもやい舟

大垣市

川地 羽海（小六）

夏の川はもん広がるこいのあと

大垣市

子林 丈太郎（小六）

いちごがり大ききさきそうぼく一ばん

大垣市

二村 そうた（小二）

選者吟

葉にすがるで虫つまむ小さき指

まさる

小中学生の部

